

○基本情報

記載日

平成30年8月30日

団体名	阪神国際港湾株式会社	所管局名	みなと総局
設立目的	阪神港の国際競争力の強化を図り、もって港湾の振興、貿易の増進及び経済・産業の発展に寄与するため、外貿埠頭並びにフェリー埠頭等の建設、賃貸及び管理運営を総合的かつ効率的に行うこと等を目的とする。		

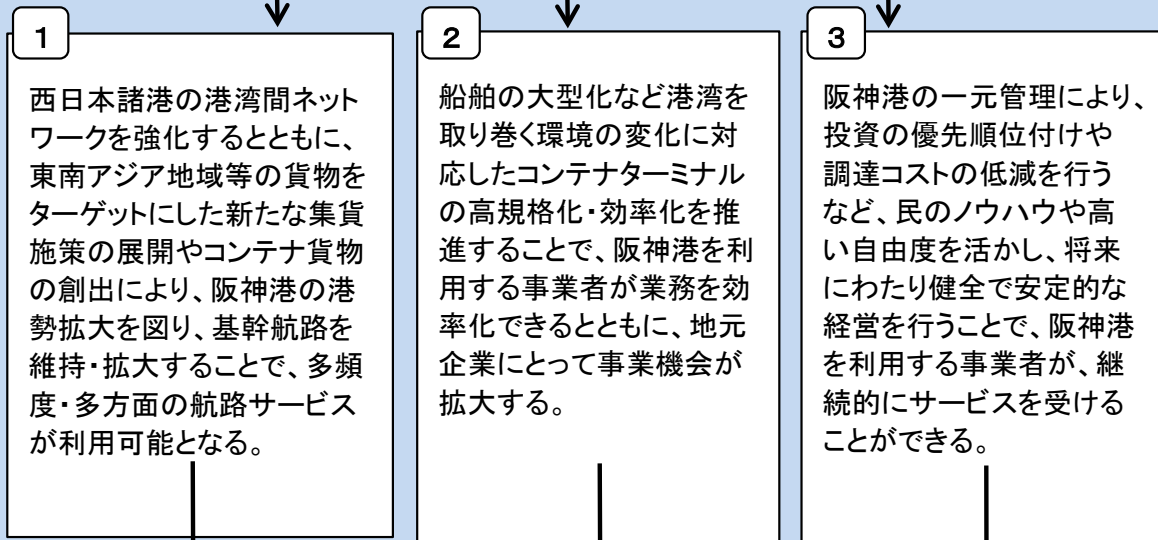
M

市が団体に求めるミッション Mission

長期	阪神港における外貿埠頭・フェリー埠頭等の総合的・効率的管理により、阪神港の機能強化を図り、国際コンテナ戦略港湾の増進及び地域経済の発展へ寄与する。
5年	<p>1……港湾運営会社設立により拡がったポートセールスチャンネルを活用して、抜本的かつ強力な集貨を国や市と連携して推進し、西日本からの貨物集貨を図る。</p> <p>2……港を取り巻く情勢が変化中、阪神港が世界に選択される港であり続けるために、荷役機械をはじめとしたハード整備を利用者ニーズを踏まえながら着実に進める。</p> <p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神港国際コンテナ戦略港湾の更なる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大(市と連携した西日本を中心とした広域からの貨物集約、高規格コンテナバースの整備)</li> </ul>

V

市民に提供する価値 Value



T

事業目標 Target

A	B	C
<p>基幹航路の維持・拡大</p> <p>コンテナ定期航路誘致 (平成29～31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外航コンテナ定期航路 5航路 新規誘致</li> <li>・国際フィーダー寄港便数 10便/週 新規誘致</li> </ul> <p>コンテナ貨物取扱量 (平成29～31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外内貿コンテナ貨物取扱量 20万TEU増加</li> </ul>	<p>計画的な荷役機械等の整備・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新数(累計)</li> </ul> <p>平成28年度末 9基 ⇒平成31年度末 15基</p>	<p>安定的な経営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益剰余金</li> </ul> <p>平成28年度末 14億円 ⇒平成31年度末 20億円</p>

## 平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月30日
団体名	阪神国際港湾株式会社	所管局名	みなと総局

## ○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外航コンテナ定期航路 1航路 新規誘致</li> <li>・国際フィーダー寄港便数 3便/週 新規誘致</li> <li>・外内貿コンテナ貨物取扱量 6万TEU増</li> </ul>		
H29実績評価	国や港湾管理者と連携して集貨施策を実施するとともに、船社へのポートセールス等に取り組み、平成29年の阪神港の取扱貨物量は前年比5%増の525万TEUとなった。		評価
	(平成29年度末実績) 外航コンテナ定期航路 2航路 新規誘致 国際フィーダー寄港便数 2便/週 新規誘致 外内貿コンテナ貨物取扱量 23万TEU 増加		S A B C
H30事業目標	外航コンテナ定期航路 2航路 新規誘致 国際フィーダー寄港便数 3便/週 新規誘致 外内貿コンテナ貨物取扱量 7万TEU 増加		
評価担当者	企画課長 和田 秀俊		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新数(累計) 11基		
H29実績評価	船舶大型化など港湾を取り巻く環境の変化やターミナルユーズのニーズに対応して荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新を実施した。その結果、29年度末の整備・更新基数(整備中を含む)は12基となった。		評価
	(平成29年度末実績) 荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新数(累計) 12基		S A B C
H30事業目標	荷役機械(ガントリークレーン)の整備・更新数(累計) 15基		
評価担当者	企画課長 和田 秀俊		

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	当期純利益 1億円		
H29実績評価	国の直轄事業推進による公有化の実施に伴い神戸港埠頭株式会社からの地代家賃が減少したこと及び経費の削減努力を図ることで、H29年度は8億円の当期純利益を確保した。		評価
	(平成29年度末実績) 当期純利益 8億円		S A B C
H30事業目標	当期純利益 2億円		
評価担当者	企画課長 和田 秀俊		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月30日
団体名	阪神国際港湾株式会社	所管局名	みなと総局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1 ……評価 S                  (上記評価の理由)                  阪神港の一元管理により、目標値を大きく上回る8倍の当期純利益を企業努力等によって計上し、健全で安定的な運営に努めたと評価できる。                  また、基幹航路の維持・拡大については、国際フィーダー寄港便数は目標に到達できなかったものの、外航コンテナ定期航路は目標の2倍の航路を新規誘致し、外内貿コンテナ貨物量は目標の約4倍と大きく目標を上回る実績を上げることができたため、目標値以上を達成できたと評価できる。</p> <p>2 ……評価 A                  (上記評価の理由)                  ハード整備について、ユーザーニーズ等に対応して目標値を達成し、計画的な荷役機械等の整備更新を行ったと評価できる。</p> <p>【総合評価の理由】                  3つの事業目標のうち、2項目が目標値を大きく上回って目標達成しているため。</p>	総合評価
		<p style="text-align: center;">(S)</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: center;">C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	みなと総局総務課長 和泉 智久	